



日本共産党中央区議団議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

自宅: 中央区日本橋浜町3-41-5-1002
Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議団議員団 Tel 3546-5563
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

すべての学校・保育園で放射線測定



放射線の測定が実施された区内の保育園

6月17日から30日まで、区議会第2回定例会が行われ、21日に、日本共産党中央区議団を代表して志村たかよし議員が一般質問を行いました。

放射線測定は3カ所で十分？

震災から4カ月、今なお福島第一原発の事故の終息の目途が立たず、多くの区民の方が不安を持っている中、志村議員は、「すべての小中学校、幼稚園、保育園などでの放射線測定と学校給食の食材の測定、結果の公表」を求めました。

—放射線測定結果— (中央区HPより抜粋)

測定場所	測定値			測定日
	地表	からの	高さ	
	5 cm	50cm	1 m	
日本橋中学校	0.06	0.04	0.10	6/30
久松小学校	0.09	0.08	0.06	6/29
常盤小学校	0.11	0.09	0.06	6/29
日本橋小学校	0.11	0.10	0.07	6/28
有馬小学校	0.09	0.08	0.08	6/26
十思保育園	0.12	0.12	0.07	6/28
堀留町保育園	0.10	0.10	0.10	6/27
浜町保育園	0.12	0.12	0.12	6/25
人形町保育園	0.08	0.08	0.07	6/25
日本橋保育園	0.09	0.06	0.05	6/24

単位：マイクロシーベルト/時

区長は「大気の測定を区内3カ所で行う。食材については、暫定規制値を超えるものは出荷停止になるので、区で測定する必要はない」と否定的でした。

ようやく全校・全園で測定

本会議の答弁では消極的でしたが、区は23日になって、「区

内のすべての区立小中学校・幼稚園、保育園の測定を行う」とを決め、24日から測定と測定結果の公表を始めました。

志村議員は、区長の姿勢を批判し、再度、区独自の測定を求めました。

私たち日本共産党中央区議団は、震災直後の3月15日、区長に震災対策の強化を求める緊急の申し入れでも「区内の放射能レベルの測定を実施し、結果を区民に公表すること」を求めていました。ようやく実施しましたが、対応が遅いのは否めません。

ブログもぜひご覧ください

おぐり智恵子

検索

原発ゼロへ2万人



7月2日、明治公園で「原発ゼロをめざす緊急行動」が行われ、家族で参加しました。

福島県をはじめ全国から2万人が集まり、原発立地県の元町長、住民、市民団体代表などが発言。来賓あいさつに立った日本共産党の志位委員長は「安全な原発はありえない。危険をなくす方法はただ一つ。原発をなくすしかない」と訴えました。

最悪の人災・福島原発事故から

4カ月たっても、いまなお4つの原子炉から大量の放射性物質が拡散され続けています。

集会アピールでは、「8割の国民が原発の廃炉を求め、全国に『原発ゼロ』の運動が広がっていることは政府に無視されている。計画的に、迅速に原子炉廃炉に向かう政策決定を政府に迫ろう」とよびかけています。

原発に依存せず、自然エネルギーに転換をの声を広げていきましょう。



震災救援ボランティアに参加

6月17～19日、東日本大震災の救援ボランティアに参加しました。日本共産党中央地区委員会が呼びかけ、12人が参加。ワゴン車3台に、皆さんからお寄せいただいた支援物資を積み込み、石巻市に向かいました。

現地では、津波の被害を受けた民家の泥出しや支援物資の配布の手伝いをしました。

被災地はいまだに津波で流されてきた家そのまま残っていたり、甚大な被害を目の当たりにして言葉を失いました。被災地の復興には、長い時間がかかると思います。息の長い救援活動が必要だと思いました。

第2次のボランティア派遣を8月5～7日に予定しています。引き続き支援物資や救援募金へのご協力をお願いします。

救援活動の報告会を区議会の報告を兼ねて行います。みなさんのご参加をお待ちしています。

議会活動と被災地救援ボランティア活動
報告会 7月16日(土) 2時～

人形町事務所

人形町1-10-8

03-3669-3728



写真上 / 津波の被害が甚大な石巻市沿岸部の様子。
写真中 / 民家の床下の泥だし作業。写真下 / 宮城県
東部地区委員会救援センターで支援物資を積み込む。